

まちづくりの約束

～マニフェスト～

4年間、次の政策の実現に向けて全力で取り組みます。

基本姿勢

★ 町民の目線でまちづくり

町民の声に真剣に耳を傾け、町民の側に身を置き換えて町政を進めます。

★ 現場を直視したチームワークのまちづくり

現場に出向き、現場からはじまる対話の町政をめざします。

★ 公平・中立の立場でまちづくり

誰にも公平・中立の立場で、いろいろな視点から町政を考えます。

めざす政策

1. 信頼されるまち

計画的なまちづくりや健全財政の確立など、信頼されるまちをつくります。

2. 住み続けたい、住んでみたいまち

安全・安心な生活基盤の整備と情報化を進め、住み続けたい、住んでみたいまちをつくります。

3. 人も、地域も元気なまち

情操を高め、人も地域も元気があるまちをつくります。

4. 豊かで、輝くまち

地域産業の拡大で雇用を創出し、豊かで輝きのあるまちをつくります。

5. 人や環境にやさしいまち

子供達の健やかな成長、高齢者や障がい者の福祉向上、町民の健康づくりを支援し、エコの取り組みを進め、人や環境にやさしいまちをつくります。

未来を見すえてまちづくり

自信と誇りを持って おとふけ

寺山けんじ



信頼されるまち

計画的なまちづくりや健全財政の確立など、信頼されるまちをつくりまします。

新たな視点や考え方を取り入れた新総合計画の策定

- ◇ 幅広い市民の意見が反映され、町内各地域の特色ある発展を意識した計画づくり。
- ◇ 成熟したまちを形成するための社会資本の整備を念頭に置いた計画づくり。

メリハリのある財政運営

- ◇ 健全財政を堅持するための新たな計画を策定。
- ◇ 緊急度・優先度を判断した財政運営を行なうとともに、行政評価に外部評価の導入を検討。

間違いのない行政執行と効果的な住民サービス

- ◇ 木野支所の窓口拡充を図り、木野地域における住民サービスの向上。
- ◇ 戸籍の電算化など事務の効率化の推進。
- ◇ 町民窓口の「ワンストップサービス」を推進。

使命感と責任で行動する職員の意識改革

- ◇ 民間委託や指定管理者制度の導入により現在の職員数を維持し、人口に比例した職員増は行わない。
- ◇ 市民の皆さんと情報を共有し、要望や苦情には現場で直に見て聞いて、解決に向けて行動。
- ◇ 地方分権時代に対応できる職員を養成するため、各種の職員研修の強化。
- ◇ 職員の能力開発を進めるため、新たな人事評価制度の導入。
- ◇ 役場は、市民の皆さんをお客様とするサービス産業であることを常に意識し、「親切とやさしさ」にあふれた職員を育成。
- ◇ 職員の法令遵守を徹底し、特に飲酒運転は即免職にする基準の見直し。
- ◇ 社会情勢の変化と行政課題に対応した組織機構の見直し。

広域行政の推進

- ◇ 消防力を高め、消防行政を効率的に進めるため、平成25年度スタートに向けて消防広域化の取り組み。
- ◇ 広域的な職員研修の推進。
- ◇ 効率的、効果的な行政を進めるため、さらに広域連携を推進。

住み続けたい、住んでみたいまち

安全・安心な生活基盤の整備と情報化を進め、住み続けたい、住んでみたいまちをつくりまします。

生活道路などの整備促進

- ◇ 市街地の生活道路を整備。
- ◇ 都市計画街路の整備を推進。（開進通街路・雄飛が丘通・物流団地通）
- ◇ コミバスの路線や停留所のきめ細かな見直しにより利便性を高め、市民の足の確保。
- ◇ 街路灯を計画的に整備し、明るく安全な街並み推進。（5年間で63基）
- ◇ 信号機、横断歩道など、交通安全施設の整備を強く要望するとともに、指導体制の強化を図る。
- ◇ 計画的な公営住宅の整備、借上公営住宅など新たな考えを導入した住生活基本計画の策定。
- ◇ 老朽化が著しい児童会館を解体し、跡地を市民憩いの広場として整備。

将来を見通した土地利用

- ◇ 時代の変化に対応し、将来を見通した都市計画区域の線引き見直し。

上下水道の整備や農村部の生活用水確保

- ◇ 農村部の生活用水を確保する施設整備をすすめ、工事の受益者負担金に上限を設け負担軽減。

耐震化と緊急連絡システム（ミニFM局）の開設

- ◇ 一般木造住宅の耐震診断と耐震改修に要する費用の一部助成。
- ◇ 災害用備蓄品を拡充。（非常用トイレ・食糧・給水用水袋・飲料水など）
- ◇ 円滑な避難誘導を進めるため、災害時用援護者の把握を進め、データベース化を図る。
- ◇ 緊急情報の伝達を確実なものにするため、ミニFM局の開設や緊急地震速報の通報システムの構築。
- ◇ 災害時の水の確保のため、上水道を利用した緊急貯水槽の整備。
- ◇ 災害時における多様な応援協定の締結。
- ◇ 消防力の整備を図るため、消防会館、消防車両、防災用備品などの整備。

農村部の情報網整備

- ◇ 民間企業との連携により農村部の高速情報網を整備し、情報格差の解消を図る。

人も、地域も元気なまち

情操を高め、人も地域も元気があるまちをつくります。

子どもたちがのびのび学べる教育環境の整備

- ◇ 小・中学校の校舎・屋内運動場の耐震診断・耐震改修を早期実施。
- ◇ 校舎や屋内運動場の整備。（音更中改築・緑南中増築・下音更中増築）
- ◇ 学校の体育設備・遊具の専門的点検と整備を実施。
- ◇ 教育用コンピュータ機器（小学生2人に1台、教員1人に1台）、教材備品、学校図書の整備。
- ◇ 学習支援員の充実や小学校英語講師の配置など、教育委員会と連携して教育内容の充実。
- ◇ 奨学資金の拡充。

芸術・文化・スポーツに触れ体験できる機会の充実

- ◇ 文化センターの計画的な改修を進めるとともに、指定管理者制度の導入を検討。
- ◇ 帯広大谷短期大学や音更高校との連携を深め、各種講座等の多様化を図り、学習機会の拡充。
- ◇ 生涯学習の各種活動を広げるため、いろいろな知識・技能を有している人材の発掘・登録を推進。
- ◇ 蔵書数を増やすなど、積極的な図書館活動を推進。

女性や若者のまちづくりへの参加拡大

- ◇ 「まちづくり基本条例」の理念に基づいたまちづくりを進め、特に女性や若者の声をまちづくりに反映。

コミュニティ活動、町民参加の促進

- ◇ 気軽な雰囲気の中で町民の生の声を聴くため、「まちづくりトーク」を実施。
- ◇ 自治活動賠償責任保険料の全額を助成。
- ◇ 人口増加が著しい南宝来地域に会館を新設。
- ◇ 総合福祉センターの床張替えを行い、利用の拡大。
- ◇ まちの賑わいと活性化をめざし、町民のアイデアを結集した大イベントの企画化。

豊かで、輝くまち

地域産業の拡大で雇用を創出し、豊かで輝きのあるまちをつくります。

生産基盤の整備、輪作体系を確立し、力強い農林業と地産地消を推進

- ◇ 肥料・燃料価格高騰緊急対策資金の利子補給制度を創設。
- ◇ 農地・水・環境保全向上対策を確実に実施し、安全・安心なクリーン農業、環境にやさしい農業の推進。
- ◇ 堆きゅう肥、緑肥作物の活用など農・畜連携による土づくりの推進。
- ◇ 土地基盤整備事業を導入し、町単独の浅層暗渠、小規模土地改良事業を実施。
- ◇ 新品種小麦の乾燥調整施設の導入を推進。
- ◇ 労・農連携による「コントラクター制度」の導入を研究。
- ◇ カラマツ材の有効活用をさらに推進。
- ◇ 森林が持つ機能を拡充するため、多様な樹種を造林し、間伐・枝打ちに助成。
- ◇ 自校給食を堅持し、地産地消・食育を推進。
- ◇ 音更産農産物の加工が体験できる機会を拡大するため、ふれあい交流館の加工機器や講座を充実。
- ◇ 子どもの農業体験農場を通じて、音更の食材に触れる機会の拡大。

恵まれた自然や景観を活用した観光開発

- ◇ 十勝川温泉活性化への取り組みを支援するため、観光振興基金の拡大や観光協会への支援を強化。地域と一緒に公有地の土地利用計画を樹立。
- ◇ 雪氷や太陽光と温泉熱を組み合わせた新しいエネルギーを開発し、「エコな十勝川温泉」づくりを推進。
- ◇ 町民が町内の温泉施設利用を増進するため、費用の一部助成を実施。

音更産原料での特産品開発・ブランド化

- ◇ 生産者の「顔の見える」地場産品の販路拡大。
- ◇ 「モール市場」や「青空市」への支援。
- ◇ 研究機関、農協と連携し、ブロッコリーなど地場農畜産物を原料とした音更ブランドの開発を支援。

企業誘致による雇用拡大と商店街の活性化

- ◇ 工業立地促進優遇措置を拡大し、企業誘致を促進。（固定資産税課税免除など）
- ◇ IC工業団地の企業誘致を進めるため、土地の無償貸付など大胆に発想し、転換を図る。
- ◇ 空き店舗の改修費や家賃に対し助成を行うことにより活用を促進し、商店街の活性化を図る。

消費者行政の推進

- ◇ 消費生活相談体制を充実し、消費者の保護、自立を促進。

人や環境にやさしいまち

子どもたちの健やかな成長、高齢者や障がい者の福祉向上、町民の健康づくりを支援し、エコの取り組みを進め、人や環境にやさしいまちをつくります。

共に支えあう地域福祉の充実

- ◇ 要援護高齢者や障がい者に対する給食サービスの拡充。（特別食の充実）
- ◇ 福祉関係団体の自立と運営強化のため、事務体制の一元化・民間移管を推進。
- ◇ 成年後見制度の周知と支援事業の活用を推進。

保育施設の整備やファミリーサポート体制の充実

- ◇ 地域における子育てを支援するため、ファミリーサポート事業の登録を推進。
- ◇ 緑につつまれた「子育て森の交流館」の整備。
- ◇ 待機者ゼロを目指し保育施設の整備を進めるとともに、休日保育など需要に応じた特別保育事業の拡充。
- ◇ 季節を通じて屋外で遊ぶことのできる公園の再整備。
- ◇ 学童保育所通所児童数の適正化のため、施設整備を推進。（ひまわりの家・第2木野東の家）
- ◇ 保育所遊具の点検や計画的整備など、土のぬくもりを大切に安全・安心な屋外保育を推進。

高齢者や障がい者が地域で安心して暮らせる施策

- ◇ 認知症高齢者の福祉向上のための対策を強化。（認知症グループホームの増設、認知症サポーターの養成）
- ◇ 介護予防事業の実施方法の改善を図るため、介護予防評価事業の実施。
- ◇ 特定高齢者の生活機能の向上を図るため、栄養改善プログラムの実施。
- ◇ 高齢者を消費者被害、虐待などから守るため、権利擁護・孤独死防止ネットワークの確立。
- ◇ 高齢者介護施設の整備充実。
- ◇ 障がい者の就労を支援するため、職場体験事業の充実と相談員を配置。
- ◇ 療育サービスの充実のため、母子通園センターの民間への移管を含めた運営形態の見直しの検討。

各種健診（検診）の充実

- ◇ 安心して子どもを産み育てる環境を整えるため、妊婦健康診査の拡充。
- ◇ がんの早期発見・早期治療をさらに進めるため、がんドック検診やPET（最新のがん診断技術）検診に助成。
- ◇ 保健・医療・福祉・介護が連携した町民の健康管理を推進。
- ◇ 不妊治療の助成を拡充。

新エネルギーの活用、リサイクルの促進

- ◇ 住宅用太陽光発電システムやペレットストーブ導入に対する支援の拡充。
- ◇ 地球温暖化対策の広報啓発を積極的に実施し、地球環境に対する町民意識の高揚推進。
- ◇ 公用車にエコカー（電気自動車など）の導入。
- ◇ 街路灯の省電力化の推進。
- ◇ 町有林管理計画を樹立し、環境の保全、地球温暖化対策の推進。
- ◇ 火葬場の全面改築、需要動向に応じた霊園の拡張を実施。
- ◇ 地域における資源回収の意識を高めるため、有価物の持ち去りを防止する条例化を推進。

寺山けんじ連合後援会

☎080-0301

音更町木野大通西6丁目（JA木野ハピオ南）

TEL 30-3444 FAX 30-3449

討議資料